

## 令和5年度 第3回 産業医科大学倫理委員会報告

- 1 日 時 令和5年6月7日(水) 13:30 ~ 14:30
- 2 場 所 大学本館2号館 多目的ホール
- 3 出席者(15名)  
 学内: 藤野(昭)、中山、齋藤、長田、足立、矢寺、立石、大松、東、藤野(善)、樫本  
 学外: 櫻井、安元、田中、玉城
- 欠席者(1名)  
 学内: 庄司  
 学外: なし

### 4 報告事項等

(1) 令和5年度第1回迅速審査小委員会について、齋藤迅速審査小委員長から報告があった。

- ① 研究責任者: 産業生態科学研究所 環境疫学 教授 藤野 善久  
 研究課題名: 就労者における労働災害に関連する要因の探索  
 審査要旨: 迅速審査小委員会による審査の結果、「承認」とする。

(2) 事務局から、システム導入に伴う研究期間の見直しについて、次の通り報告があった。

従来、倫理委員会で審査される全ての研究について、本学で実施許可できる期間は最長3年として管理してきたが、倫理審査デジタル申請システムの導入に伴い、多機関共同研究で本学が共同研究機関の分担研究のうち、研究代表機関に中央一括審査を依頼する場合に限り、研究代表機関の定める研究期間に倣い申請を可能とする旨の説明があった。

ただし年1回の研究等進捗状況報告書の提出により管理していくこと、また本学の単施設研究や本学が代表研究機関の場合、及び多機関共同研究(本学が共同研究機関)であっても、個別審査が行われる場合については、従来どおり最長3年とする旨の説明が併せてあった。

単施設/多機関	本学の位置づけ	個別/一括	研究期間
単施設研究			最長3年
多機関共同研究	本学が研究代表機関	個別審査	
		中央一括審査	
	本学が共同研究機関	個別審査	研究代表機関の定める研究期間に準拠する
		中央一括審査	

### 5 審議事項等

(1) 令和5年度第2回産業医科大学倫理委員会議事抄録(案)が、原案どおり承認された。

### 6 研究倫理審査

(1) 新規申請 2件

- ① 研究責任者: 産業生態科学研究所 労働衛生工学 教授 東 秀憲  
 研究課題名: フィットファクタの支配因子探索による呼吸用保護具の適切な選択と使用のための簡易的チェック手法の検討

- ② 研究責任者： IR推進センター 准教授 井上 彰臣  
研究課題名： 潜在保健師・看護師の産業看護職としての就労可能性および研修に関するニーズ調査

全件、指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

(2) 新規申請（中央一括審査） 1件

- ① 研究責任者： 産業生態科学研究所 人間工学 教授 榎原 毅  
研究課題名： 音声感情解析技術(LVA)を用いた組織介入はコールセンターにおけるオペレーターのメンタルヘルス予防に効果的か？  
研究代表機関： 産業医科大学

上記1件について、指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

(3) 変更申請（中央一括審査） 1件

- ① 研究責任者： 産業医科大学病院 放射線部 診療放射線技師 藤田 裕樹  
研究課題名： 人工知能を用いた画像改善に関する後ろ向き研究  
研究代表機関： 産業医科大学

上記について、承認された。

(4) 変更申請 3件

- ① 研究責任者： 医学部 衛生学 教授 辻 真弓  
研究課題名： 溶接作業者の溶接ヒュームばく露（個人ばく露と生体内ばく露）と健康影響の関係に関する疫学調査
- ② 研究責任者： 産業保健学部 基礎看護学 講師 小山 理英  
研究課題名： Post-Coronavirus Disease-2019 における看護学生のストレス要因の検討
- ③ 研究責任者： 産業生態科学研究所 産業保健管理学 講師 永野 千景  
研究課題名： 暑熱環境下における耳垂装着型温度計測デバイスによる暑熱リスク評価の有用性について

全件、承認された。

7 その他

(1) 進捗状況報告 7件が別紙のとおり承認された。

(2) 倫理審査研究計画の移行申請 13件が別紙のとおり承認された。

## 研究進捗状況報告

受付番号	申請者	所属	職名	課題名
R1-014	下野 昌幸	エコチル調査	教授(特任教授)	子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)本調査における産業医科大学サブユニットセンター任意調査(8歳)
R4-003	東 秀憲	労働衛生工学	教授	室内温熱環境および空気質の生体影響評価
H24-035	辻 真弓	衛生学	教授	エコチル調査参加父母児におけるアレルギー等の症状と環境化学物質特異的抗体との関係についての研究
R4-058	辻 真弓	衛生学	教授	ヒト生体試料中マイクロプラスチック分析による取り込み評価と生体影響
R2-011	辻 真弓	衛生学	教授	溶接作業者の溶接ヒュームばく露(個人ばく露と生体内ばく露)と健康影響の関係に関する疫学調査
R4-006	大藪 貴子	産業精神保健学	講師	個人保護具による曝露低減法の検討(呼吸用保護具のフィットファクタと防護係数の測定と評価)
R4-024	倉岡 宏幸	安全衛生マネジメント学	助教	バーチャルオフィス空間での精神作業に対する心身状態の可視化に向けた基礎的検討

## 研究計画移行申請

受付番号	申請者	所属	職名	課題名
セH25-05	矢寺 和博	呼吸器内科学	教授	喫煙関連呼吸器難病におけるヒトゲノム・遺伝子解析研究
H25-108	矢寺 和博	呼吸器内科学	教授	肺の生活習慣病の克服を目指した医療ネットワークの構築ー喫煙関連呼吸器難病に対する前向きコホート研究ー
セH26-08	足立 弘明	神経内科学	教授	神経疾患の遺伝子変異同定及び発症機序の解明
H25-202	大江 晋司	第3内科学	助教	ジクロフェナク坐剤による内視鏡的逆行性胆管膵管造影後膵炎の発症予防に関する検討
H27-091	原田 大	第3内科学	教授	ジェノタイプ2型C型慢性肝疾患に対する直接作用型抗ウイルス薬による治療効果と、治療効果に影響を及ぼす因子の検討
H27-123	原田 大	第3内科学	教授	ジェノタイプ1型C型慢性肝疾患に対する直接作用型抗ウイルス薬による治療効果と、治療効果に影響を及ぼす因子の検討
H27-170	柴田 道彦	第3内科学	講師	九州肝癌研究会「九州地域における肝癌発生状況に関する検討」
H28-020	柴田 道彦	第3内科学	講師	非代償性肝硬変に対するトルバプタンの効果予測に関する検討
H28-206	原田 大	第3内科学	教授	肝細胞癌に対する肝切除またはラジオ波焼灼療法施行後の再発治療・長期予後に関する多施設共同後ろ向き観察研究: SURF trial 付随研究
H29-051	原田 大	第3内科学	教授	直接型抗ウイルス薬によりウイルス学的著効を示したC型慢性肝疾患患者における肝発癌の実態を明らかにするための多施設共同前向き、一部後ろ向き研究
H29-098	原田 大	第3内科学	教授	慢性肝疾患における、微量元素と肝障害パラメーターとの相関及び、亜鉛投与によるその臨床的意義についての検討
H28-250	田中 文啓	第2外科学	教授	悪性胸膜中皮腫の前方視的データベース研究
H29-017	田中 文啓	第2外科学	教授	間質性肺炎合併肺癌切除患者における術後急性増悪予測 リスクスコアバリデーションスタディー-多施設共同非介入前向き研究-